

～有接点シーケンスについて理解し、製作しましょう！～

有接点シーケンス制御の実践技術					
コース名					
コース番号	6D104	日程	7/28(水), 29(木)	時間	9:00~16:00 (合計12時間)
定員	10名	会場	ポリテクカレッジ島根 (江津)	受講料	¥8,000
訓練目標	シーケンス制御設計の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けた有接点シーケンス製作実習を通して、有接点シーケンス制御製作の実務能力を習得します。				
対象者	配電盤・制御盤、F A装置内のシーケンス制御に関する技術を習得したい方にお勧めします。 (シーケンス制御設計に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者)				
内容	<ol style="list-style-type: none"> 各種制御機器の種類と選定方法 <ol style="list-style-type: none"> (1) スイッチ、センサ等 (2) 電磁接触器、電磁継電器、熱動継電器 (3) その他制御機器 (表示灯、ブレーカ、ヒューズなど) (4) 制御線・動力線の選定 (5) アクチュエータの定格と選定フロー 主回路と制御回路 <ol style="list-style-type: none"> (1) 安全対策 (2) 展開接続図の読み方 (3) 機器の配置と接続方法 (4) 各種制御回路 有接点シーケンス製作実習 <ol style="list-style-type: none"> (1) 実習課題についての仕様説明 (例: 排風装置、搬送システムなど) (2) 展開接続図 (3) 制御機器及びアクチュエータの選定 (4) システム構築の留意事項及び安全作業・品質管理について (5) 配線作業、点検及び試運転 (6) トラブル発生メカニズムと改善 				
使用機器	電磁接触器、電磁継電器、サーマルリレー、スイッチ、表示灯、ヒューズ、ブレーカ、各種センサ、各種負荷装置、テスタ、工具				
持参品	筆記用具				



～配線しながらPLCのプログラムを身につけよう～

P L Cによる自動化制御技術					
コース名					
コース番号	6D105	日程	8/18(水), 19(木), 20(金)	時間	9:00~16:00 (合計18時間)
定員	10名	会場	ポリテクカレッジ島根 (江津)	受講料	¥13,500
訓練目標	シーケンス (P L C) 制御設計の生産性の向上をめざして、効率化、安全性向上に向けた自動化制御実習を通して、生産設備設計の実務能力を習得します。				
対象者	配電盤・制御盤、F A装置内にあるP L Cに関する技術を習得したい方にお勧めします。 (自動化設備の設計・保守業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者)				
内容	<ol style="list-style-type: none"> 自動化技術 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自動化技術について (2) P L C制御について F Aモデルの構成 <ol style="list-style-type: none"> (1) 制御機器と回路設計 (2) 駆動機器の特性 (3) 配線作業における注意点 プログラム設計 <ol style="list-style-type: none"> (1) 基本命令でプログラムの作成 故障の検出方法 <ol style="list-style-type: none"> (1) 故障・トラブル発生時の状態 (2) 検出方法 (3) 故障やトラブル情報の取扱い 安全対策 <ol style="list-style-type: none"> (1) 安全と危険 (2) 安全のためのソフトウェア対策 (3) 安全のためのハードウェア対策 自動化制御実習 <ol style="list-style-type: none"> (1) 模擬自動化制御ライン設計 (2) 模擬自動化制御ライン組立 (3) 模擬自動化制御ラインプログラミング (4) 発生し得るトラブルの予測・検討 (5) 試運転・デバッグ (6) メンテナンス 				
使用機器	PLC(三菱Fxシリーズ)、ラダーサポートソフト、各種負荷装置、計測器、工具				
持参品	筆記用具				

